

令和 6 年秋の褒章 北海道開発局関係では 1 名・1 団体が受章

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

令和 6 年秋の褒章の受章者が 11 月 3 日付けで発令され、北海道開発局の港湾関係では、吉本正則氏(岩内町・㈱吉本組代表取締役会長)が「黄綬褒章」を、網走セーリング協会「北緯 44 度」(網走市)が「緑綬褒章」をそれぞれ受章され、11 月 13 日に国土交通省で行われた伝達式へ出席されました。

吉本氏は、昭和 44 年に㈱吉本組の代表取締役に就任し、重要港湾石狩湾新港や地方港湾岩内港など北海道内の港湾の整備促進に貢献されるとともに、北海道港湾空港建設協会副会長、日本海上起重技術協会北海道支部副支部長、小樽建設協会会長などの多くの要職を歴任され、港湾建設業の発展や地位の向上に尽力されました。

この度の受章にあたり吉本氏からは、「受章を契機に、これまで培った経験・人脈をもとに、建設業界はもとより地域の発展にさらに寄与していきたい」と今後の抱負のお言葉をいただきました。



授与された黄綬褒状と
吉本正則氏



中野国土交通大臣から受章者への祝辞

網走セーリング協会は、平成 14 年から 23 年間の永きにわたり、網走港内及び周辺海浜において清掃奉仕活動を定期的実施することにより、地域の環境美化保全や利用者の環境意識の向上に貢献されました。

この度の受章にあたり網走セーリング協会会長の高田氏からは、「長年のコツコツと積み重ねた小さなボランティア活動が認められ受章に至ったことはとても光栄で、会員一同喜んでおります」と喜びのお言葉をいただきました。



緑綬褒状を手にする網走セーリング協会会長の高田巧氏